Tune In magazine

中央学院大学 学報 | No.144 |

May your wish come true

大学での4年間は、自分の世界を無限に広げることができる貴重な期間です。ただ、大学にはさまざまな情報が溢れていて、どうやって過ごすか悩んでしまう人も多いはず。学生や先生から集めたリアルな声を参考にしながら、理想のキャンパスライフをイメージしてみましょう。

発行日：2023年7月24日　発行者：中央学院大学
〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家451　Tel：04-7183-6501　URL：https://www.cgu.ac.jp/

Text : Maki Nakamura（P02-P10）
Photo : Kentaro Oshio（COVER, BACK COVER, P02-P03, P06, P08）, Mizuho Takamura（P02-P05, P07, P10）
Illustration : Kotaro Kimura（P10）
Creative Direction: Mo-Green Co.,Ltd.

今後のより良い広報誌づくりのため、みなさまから本誌に関するご意見ご感想などをお寄せください。
※アンケートの回答は統計的に処理され、個人情報が公表されることはありません。
また、調査データをアンケートの目的以外に利用することはありません。

FSC
www.fsc.org
ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C112249

森林認証紙を
使用しております。

世紀を越えて つながる伝統
125
Chuo Gakuin
since 1906

All about CGU!

特集

中央学院大学のホントのところ。

大学案内やHPだけでは紹介しきれない、中央学院大学の隠れた魅力や、少しだけためになる情報。ここで過ごす学生や先生たちから集めたリアルなキャンパスライフの声を紹介します。

みんなから愛される ちゅーいんこ は、グッズ展開が豊富!!

大学のマスコットキャラクターとして、学生から大人気のちゅーいんこ。クリアファイルやトートバッグ、ぬいぐるみなどのグッズを持っている人も多い。

通学バス は早い時間に乗ると快適!!

講義にちょうど間に合う時間帯のバスは混雑していることがほとんど。余裕を持って早い時間に乗るか、天気の良い日は駅からゆっくり歩いてみるのも◎

ライトアップ が綺麗で癒される……

日が落ちると、キャンパス内をやさしい光が照らす。「オレンジ色のライトが幻想的で癒される」「一日頑張った後にホッと一息つける」と学生にも好評。

図書館が至れり尽くせりの空間らしい

実は…

飲食可能なスペースがあり、寒い日には膝掛けの貸し出しもあって学生にやさしい。

キャンパス内には、気になるモニュメントがたくさんあるらしい

実は…

学内の至るところにあるモニュメント。作品のタイトルや意味はキャンパスガイドに掲載されている。

Truth about Chuo
自慢したい、

Gakuin University
知ってほしい、

CGUのホント。

時々ウワサ

ランチの選択肢が豊富!!

学食に加えてキッチンカーも毎日出店するので、ランチには困らないはず。月ごとの出店情報は大学HPからチェックできるので、全店制覇をめざしてみては。

学食のキムチ丼と唐揚げがとにかくおすすめ!!

隠れた人気メニューのキムチ丼は、辛すぎず野菜もとれて女性におすすめ。唐揚げは大きくてコスパ抜群。七味とマヨネーズをかけるのが通な楽しみ方。

学食のもやしラーメンは意外と具沢山らしい

実は…

もやしだけかと思いきや、肉、錦糸卵、ネギ、こんにゃくなど、かなり具沢山。

土手からの景色が気持ち良い。

キャンパス近くの土手からは、天気の良い日中は筑波山、暗くなると取手方面の夜景を見ることができ、ここからの景色のファンも多い。

制限されないという贅沢、幸せの積み上がる場所。

我孫子駅北口から、穏やかな住宅街を抜けると濃くなる緑。都心からの利便性と自然豊かな環境の両方を兼ね備えたキャンパスには、今日もさらりと風が吹き抜ける。

中央学院大学の特徴の一つ、それは自由に利用できる空間が豊富なこと。屋外に置かれたテーブルやベンチの数が多く、学生会館Via（ヴィア）の2、3階にはソファやリラックスチェアが設けられ、いつでもやさしく学生たちを迎えてくれる。勉強や読書はもちろん、友だちとのたわいもない会話、はたまた一人で頭をからっぽにする時間に至るまで。過ごし方を制限されないことは、一番の贅沢かもしれない。

「大学の好きなところ、教えてください」と質問すれば、学生も、先生も、みんな楽しそうな笑顔で一生懸命に答えてくれる。「あそこから見る景色が好き」、「あの学食メニューが元気のもと」。一つひとつは些細なことかもしれないけれど、楽しい人生って、小さな幸せでできているものだから。そんなプチハッピーが詰まった中央学院大学の、さまざまな魅力や情報をお届け。

どうすれば充実する？

キャンパスライフのホント。

Truth about campus life

大学での過ごし方に迷ったときは
人に聞いてしまおう！
キャンパスライフにまつわる、
学生&先生の本音トーク。

利用できるものは
とことん利用して！

秋山日南 さん
現代教養学部 3 年生
（茨城県立土浦第二高校出身）

小熊優 さん
法学部 3 年生
（東京都立江北高校出身）

関野唯 さん
商学部 3 年生
（茨城県立つくば特別支援学校出身）

Student

現役生だから言えること

大学生活を楽しむカギは身近なところにある

小熊　キャンパスライフを充実させるためにどうするか。誰もが一度は考えると思うけれど、僕たちから言わせてもらえば、まずはとにかく…

関野　「困ったらピア・サポーター［*1］に相談して！」ってことだよね。

秋山　本当にそう！ 私たち3人ともピア・サポーターとして活動しているけど、実際かなりいろいろな相談を受けているよね。

履修も人間関係も悩みがあったらピア・サポに相談！

関野　履修の相談はもちろん、最近は「同じクラスの友だちとの付き合い方」とか、人間関係の相談を受けることも多かったりする。

小熊　たしかに。僕たちはピア・サポーターとして幅広い相談に対応するために研修も受けているし、気軽に声をかけてほしいよね。

秋山　あらたまった相談じゃなくても、「とにかく話を聞いてほしい」という学生もいたり。特に1年生はいろいろ悩むことも多いと思うので、そんなときはピア・サポがいることを思い出してほしいです。

関野　あと、すごく地味な話かもしれないけど、入学時に配られる学校案内のキャンパスガイド［*2］があるじゃない？ あれ、すごく便利だと思ってるんだよね。

入学時に配布されるキャンパスガイドを徹底的に使い倒せ！

秋山　キャンパスマップや教室の番号まで全部載っていて大学の情報が網羅されているから、どんどん活用しないともったいないよね。

小熊　あとは、「積極的に学内の活動に参加する」っていうのも、キャンパスライフを充実させるためには重要なポイントだと思う。

秋山　例えばどんな活動？

小熊　オープンキャンパス［*3］のスタッフとか。高校生に説明することで、大学のことを客観的に見るきっかけにもなるし。何より学部・学年を横断して仲間が増えるのは、僕としてはすごく魅力的だなって思うんだよね。

部活や学生団体、さまざまな活動に積極的に参加を！

秋山　わかる！ 私は軽音楽部なんだけど、部活動にもぜひ入ってほしい。一緒に過ごす時間が長いから、つながりの深い友だちができるので。

関野　部活に所属していなくても、駅伝部や硬式野球部など強い部活をみんなで応援するのも楽しいよね。

秋山　たしかに。ふたりは部活には入ってないの？

小熊 関野　入ってないね…。

秋山　ふたりの大学生活にも、まだまだ新たな楽しみ隠れてるじゃん！

社会との接点が
大学生活を左右する。

田中啓行 先生
（広報委員長）法学部 准教授
専門分野：日本語教育、文章・談話論

川久保文紀 先生
（副学長）法学部 教授
専門分野：政治学、国際関係論

坂井亮太 先生
法学部 准教授
専門分野：政治学、公共政策学

Teacher

学生を想う教師の愛

些細な疑問や興味の先になりたい自分を見つけて

川久保　学内での生活を充実させるためには、逆説的に聞こえるかもしれませんが「学外に出ていくこと」がすごく重要だと思っています。ゼミの課外活動や部活動はもちろん、博物館や美術館に出かけたり、人に話を聞きに行ったり。

学生よ、外へ！リアルの中にこそ出会いがある

田中　同感です。私は大学は法学部だったんですが、大学院で専門を日本語に変更しました。きっかけは大学の手話サークルに入って、学内で活動したこと。「伝える」ということに興味を持って、日本語を研究し始めたんです。常にアンテナを張っていれば、自分が熱中できる、これぞというものが見つかると思います。

坂井　四年制大学は「何者かになるための準備期間」。もしすでにやりたいことが明確ならば、就職や専門学校に進学をしているはずですよね。4年間で進むべき道を見出すためにも、積極的に社会との接点を見つけについてほしいと、私も強く思います。

川久保　あとは、とにかく何にでも疑問を持つこと。疑問を持てさえすれば、自分で調べるようになる。つまり、そこから研究が始まるんです。

坂井　まさに！ 疑問が浮かんだところで、大学の講義やゼミのリスト［*4］を広げてもらえばいい。また見え方が変わってきますから。

田中　坂井先生は教員のことを〝推し〟に例えて話をされますよね。

先生はアイドル、大学生活は推し活！あなたの推しは、誰？

坂井　そうなんです。教員は何か一つのことを突き詰めている、いわばその分野の〝アイドル〟。学生はそのアイドルたちの中から、自分の推しを見つければいいんです。

川久保　教員自身も、外部との協働で進めているプロジェクトがいろいろありますよね。私自身は、学生たちと我孫子市の平和推進事業に長く関わっています。

坂井　市とのつながりは深いですよね。うちのゼミ生は、まちづくり協議会が進める「我孫子駅北口美化プロジェクト［*5］」に参画しています。

田中　私は、「やさしい日本語［*6］」で常磐線の車内放送をするJR東日本の取り組みに注目していて。近いうちにJRからゲストスピーカーをお招きする予定です。

川久保　地元・我孫子市に注目するだけでも興味深いトピックは山ほどある。ぜひ外への視点を大切に、大学生活を楽しんでください！

魅力あふれる街
我孫子にも注目！
取り組み方は無限大

＊1…ピア・サポーター

充実した大学生活を送るためのアドバイスをする学生スタッフ。2年生以上で、必要単位を取得した学生が応募可能。ピア・サポーターについての問い合わせは、学生サポートセンターまで。
TEL：04-7183-6508（平日9:00～17:00）
support@adm.cgu.ac.jp

＊2…キャンパスガイド

入学時、全員に配布される冊子。キャンパスマップはもちろん、各課への問い合わせ直通番号など、大学生活に必要な情報が網羅されている。

＊3…オープンキャンパス

本学受験を検討している高校生向けに、毎年6月～9月頃に開催。大学・学部紹介、入試ガイダンス、キャンパスツアー、教職員相談コーナーなどのプログラムを予定。事前申し込み制。

＊4…各学部ゼミ紹介

3学部のゼミについては、公式ホームページに詳細な紹介が掲載されている。

詳しくはこちらから ▶

＊5…我孫子駅北口美化プロジェクト

我孫子北まちづくり協議会が母体となり、市民を中心として進められているプロジェクト。我孫子駅北口バスターミナルエリアの環境改善に取り組んでいる。通称、AKB。

＊6…やさしい日本語

日本語が母語でない外国人などの相手に配慮したわかりやすい日本語のこと。自治体や企業の情報発信への活用が求められており、文化庁が『在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン』を出している。JR常磐線の車内放送では、通常の「強風のため、運転を見合わせています」を「風が強いので、電車が止まっています」のようにやさしい日本語にする。

初めてのあびこ祭で
討議に参加した思い出の場所。

イマ、何してる？

at the Moment

みんな、授業以外の時間はどう過ごしている？
中央学院大学生のリアルな
キャンパスライフを伺いました。

place : コミュニティエリア　学生会館Via

people : 教えてくれたのは エゼ・グッドネスさん（千葉県立柏井高校出身）

法学部4年生。ナイジェリア出身。宣教師の両親をもち、6歳で日本移住。趣味はTVドラマ視聴。

私が入学したのはコロナ禍の2020年。学園祭の「あびこ祭」は2年連続中止で、昨年ようやく制限つきで開催されました。そのときに参加したのが、法学部・坂井亮太先生のゼミが主催する「学内熟議」。ゼミ生以外も参加可能な公開討議会で、ここ、コミュニティエリアが会場だったんです。

話し合いのテーマは、「私たちが充実した学生生活を送るために何ができるか」。全学部、すべての学年から21名の参加者が集まり、議論を交わしました。勉強している内容や環境によっていろいろなアイデアが出るのでおもしろかったです。ちなみに私が出した意見は、「バスの本数を増やしてほしい」（笑）。すごく基本的なことですけど、大事だなって。討論の本編以外にも、先輩から今後の授業についてアドバイスをしてもらったり、すごく有意義な時間でしたね。

普段、Viaのなかで自分の定位置があるという人も多いですが、私は過ごし方に合わせて場所を変えるタイプ。友だちと過ごすときは囲みやすい丸テーブルだったり、課題に取り組むときは静かなエリアに移動したり。どこに座っていても、どこでくつろいでいても、誰にも何も言われないこの自由な空気感が最高に心地いいんですよね。

今年のあびこ祭で来場者が入ったら、Viaの雰囲気もまた変わるはず。それまでに就活を終わらせて、大学最後の学園祭を思いっきり楽しみたいですね。

memo:

ゼミやサークルの発表会のほか、在学生が出場する大会のパブリックビューイング会場などにも使用される。

どうやって過ごしてる？

How to spend

❶ 課題に集中
集中して課題に取り組むなら、2Fのミーティングエリア。名前に反して一人利用の学生が多いので静か。作業がはかどります。

❷ ごはんタイム
1Fの食堂が混んでいるときは、から揚げを単品でテイクアウト。2、3Fに移動して、ゆっくり食べるのがお気に入りです。

❸ インスタ投稿
3Fのラーニングエリアの丸い照明がかわいくって、映える！ ここでよく友だちと写真を撮って、インスタに投稿したりしています。

3年生は当日の欠席者を含めて8人が所属。うちふたりが中国からの留学生。4年生は9人、2年生は10人。現在の4年生が内田ゼミの一期生。

My Seminar!

私たちのゼミ活動

ゼミで学べることや身につく力について、先生と学生に話を聞きました。

0から自分で調べて考えて、結論を出す。その達成感を経験して卒業してほしい！

UCHIDA Hikaru Seminar

内田 瑛ゼミ

| 現代教養学部 |
専門分野：情報教育、教育の情報化

Profile 津田塾大学学芸学部数学科卒業、東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻博士課程単位取得退学。

「情報」と「教育」分野を幅広く。

私の専門である「情報教育」、さらにこれを分解してもう少し幅広く「情報科学」もしくは「教育問題」にかかわるテーマを扱っています。

「情報教育」だと、例えばICT活用教育。タブレットで読むデジタル教科書などのトピックが考えられます。「情報科学」ならVRやeスポーツなどのゲーム、「教育問題」では教員のブラック労働や、子どもの貧困を研究している学生もいます。

現代教養学部のゼミは1年生から4年生まで必修です。1年生では授業を受ける上で必要な基礎を身につけ、2年生で専門に分かれます。

私のゼミでは主に情報教育に関する講義を行います。早い段階からグループワークや発表会を取り入れ、主体的に考える力を養うことをめざしています。

3年生では、卒論に向けての研究テーマ「リサーチクエスチョン」を設定するスキルを身につけます。漠然とした問いではなく、具体的な調査を可能にする課題選定能力です。

3年生の冬ごろまでを目安に卒論のテーマを決定したら、4年生は各自の研究内容に沿って発表を重ねる、いわゆるゼミ形式で進行しています。

一貫して大切にしているのは、主体性と対話性。その上にこそ、深い学びが生まれると考えています。

1. 取材当日は「いい学校とは何か？」について話し合うワークショップが行われていた。各自の発言をふせんに書き、大きなボードに貼り付けていく。
2. 2班にわかれて各班「高校」「大学」と、具体的なテーマを設定し、いい学校を構成する要素を議論。ワークのあと、各班の代表者がそれぞれの考えを発表した。

1

2

ゼミ生に聞きました！

このゼミに入った理由、これまでに学んだこと…。先生の人柄も含めて、3年生にお話を聞きました。

徐文旭さん（中国出身）

ゼミで学んだことは？

A. 論理的思考が身につきました！

先生は情報教育の先生なので、お話の仕方がとても論理的。それを私も少しは学べたかな…。

入学時はコロナ禍で中国を出られず、しばらくオンラインで授業を受けることに。一人だけリモートで出席することになった私を快く受け入れてくれたのが、1年生の必修科目を担当していた内田先生だったんです。その懐の深さにとても感動！ もともと教育工学分野に興味があったこともあり、2年生進学時のゼミ選択では迷わず内田ゼミを希望しました。

佐東克俊さん（京華商業高校出身）

ゼミに入った理由は？

A. 教育分野に関して広く興味があったから

情報教育に限定せず、広く教育について学べると聞いて入りました。卒論も教育分野の予定！

以前は、「情報教育」と聞くと少し狭い分野のように感じていました。でも先生の講義を聞くうちに、情報分野を知ったからこそ、より広い視点で「教育」を捉える力が身についたと思います。内田先生は、本当に面倒見のいい先生。授業の内容や進路指導など、個別相談にも積極的に乗ってくれます。言いにくいこともカジュアルに話せるのでありがたいです。

谷川智一さん（城西大学附属城西高校出身）

先生の魅力は？

A. 教鞭をとることに熱意をもっている！

学生が授業終わりに書くコメントに、先生は毎回必ず返答をくれる。指導への情熱を感じます。

ゼミではみんなで話し合った内容を発表する機会も多いので、プレゼン能力はだいぶ向上したと思います。いまでも毎回緊張はするんですけどね（笑）。内田先生とは、1年生のときの必修科目が最初の出会い。それ以来「この先生から学びたい！」と思っていました。情報と教育、どちらにも興味があったので、内田ゼミ以外は選択肢にありませんでした。

Have a Talk.

「学生自治会」って、どんな活動してるの？

「中学、高校でいうところの生徒会のような組織」と形容される、学生自治会。その実態を探るべく、メンバーを直撃！

教えてくれたのは

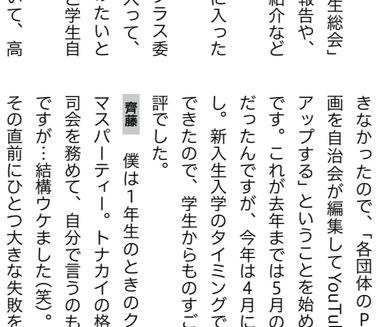
中央学院大学
学生自治会メンバー

（左から）●高石義騎さん／法学部3年生／千葉県立流山高校出身●齊藤響さん／商学部3年生／埼玉県立岩槻商業高校出身●細川紀代さん／現代教養学部4年生／千葉県立沼南高柳高校出身

僕たちのミッション。

企画、準備、運営。予算の管理も含め学内のイベントを総合プロデュース。

活動写真 Moving Photo



学生自治会が主催する企画のなかでも、特に規模が大きいのが卒業式後に行われる卒業パーティー。立食形式のメニューの準備から、学生会館Via内にフォトスポットを設置するなど、毎年スタッフ同士で協力しながら学内のお祝いムードを高めている。

年間を通して大学内でのイベントの企画、準備、運営などを行う学生自治会。高校まででいうところの生徒会に近い組織だが、選挙でメンバーが選抜されるのではなく、入会希望の学生が有志で集まって活動している。何年生でも入会可能で、一般的なサークル・部活動と同じように、一度入ったら継続していくのが基本だという。

――1年間の具体的な活動内容を教えてください。

高石　イベントでいうと、まず新入生入学のタイミングで4月に行う「マイクパフォーマンス」。これは、各部・サークルが自分たちの紹介をする、いわゆるオリエンテーションのようなものです。

細川　7月は「夏企画」。内容は毎年変わるんですが、今年は在学生向けに、ラムネとアイスクリームの無料配布を予定しています。

齊藤　あとは、12月の「クリスマスパーティー」や、卒業生を送る3月の「卒業パーティー」などが、代表的なイベントですね。

細川　5月と12月には「学生総会」があります。これは収支の報告や、その年の自治会メンバーの紹介などを行う集会です。

――みなさんが学生自治会に入った理由はなんですか？

齊藤　僕は高校のときにクラス委員長をやっていて。大学に入って、もっと責任の幅を広げてみたいと思っていたときに、ちょうど学生自治会の存在を知ったんです。

高石　僕もちょっと似ていて、高校で生徒会長をやっていたんです。大学でも同じように行事の運営などに携わりたいなと思って、自治会に入りました。

齊藤　ふたりとも入学してすぐの4、5月に入会して、3年生になるいままで続けてきたんだよね。

細川　実は私は、自治会歴でいうとふたりより浅くて。いま4年生なんですが、入会は2年生の夏なんです。つまり、ふたりが入った数カ月あと。というのも、私が1年生のときは、コロナ禍で学校自体に来れなかったんですよね。部活やサークルも全然機能していなくて、2年生になってやっといろいろな活動が再開されたころに、友だちの紹介で自治会に入りました。

――これまでの活動で、特に思い出深い行事はなんですか？

高石　今年のマイクパフォーマンスですね。対面とオンラインの両方で実施したんですが、オンライン版はコロナ禍になってから始まった新しい試み。当時は対面での実施ができなかったので、「各団体のPR動画を自治会が編集してYouTubeにアップする」ということを始めたんです。これが去年までは5月の公開だったんですが、今年は4月に前倒し。新入生入学のタイミングで公開できたので、学生からものすごく好評でした。

齊藤　僕は1年生のときのクリスマスパーティー。トナカイの格好で司会を務めて、自分で言うのもなんですが…結構ウケました（笑）。実はその直前にひとつ大きな失敗をしていて。新たに企画した「秋企画」が、僕の発注ミスで流れてしまったんです。そんな経緯もあったので、クリスマスパーティーで名誉挽回できてほっとしました。

細川　私は去年の卒業パーティーが思い出深いですね。自分の一つ上の代が引退して初めてのイベントだったので。しかも、実は私、この学年たった一人の自治会メンバーなんです。初めてのトップ、そして一人、という…。

高石　卒業パーティーは予算規模も大きいし、ドキドキしますよね。

細川　そう。後輩たちにも、メールのやりとりを見逃さないで！電話の対応にも細心の注意を払って！と伝え続けて、チームとして大きなミスなく終えられたときは、本当にうれしかったですね。

齊藤　この学報が発行される7月には、細川さんはもう引退したあとですね…。

細川　私が引退した後は、ふたりが自治会の中心になって、みんなを引っ張ってもらわないとね！

高石　任せてください！僕はいま副会長なんですけど、会長の穴を埋められるように精一杯がんばります。新入生もたくさん入ってきてくれるといいなぁ。

細川　そうだね。企画を一から考えて、予算立てて、学生課にプレゼンして。自治会の仕事は大変だけど、その分やりがいはすごい。入会してからこれまで活動を続けてこられたのは、そんな充実感があったからこそだと思っています。

Data: 年間を通して学内イベントの企画、運営などを実施。何年生でも入会可能だが、4年生の6月をもって引退となる。毎週火曜日4限後に定例開催。その他、行事スケジュールに合わせて随時活動。現在4学年18名が所属。見学・入会希望の学生は、クラブ棟107号室まで。

NOTICE

学校法人中央学院 創立125周年記念事業について

▲ 125周年記念事業ロゴマーク

学校法人中央学院は、1900（明治33）年10月1日、東京日本橋蛎殻町に開校された日本橋簡易商業夜学校を前身とし、2025（令和7）年10月1日に創立（学校起源）125周年を迎えます。

創立125周年記念事業を遂行するため『学校法人中央学院創立125周年記念事業部会』を「運営本部」「建設部会」「周年史部会」「寄付金部会」の4部会で構成し、各記念事業に取り組んでいます。

創立125周年記念事業は前回の周年事業（法人部門）にあたる100周年記念事業の際のスローガン「世紀を越えて つながる伝統」を継承し、ロゴマークを作成いたしました。

CLUB NEWS

サッカー部

前年度、千葉県大学サッカーリーグ戦で1位となり挑んでいる関東大学サッカーリーグ戦【3部】前期日程において3位と健闘しています。引き続き後期日程での応援もよろしくお願いいたします。

駅伝部

6月17日、全日本大学駅伝関東学連推薦校選考会に出場いたしました。チーム一丸となり全力を尽くしましたが、残念ながら全日本大学駅伝への出場は叶わぬ結果となりました。この悔しさを忘れず、10月14日に行われる箱根駅伝予選会を必ず突破し、第100回箱根駅伝出場をめざしてまいります。皆様の変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。

FINANCIAL STATEMENT

令和4年度決算報告

令和4年度事業活動収支計算書の経常収入計は、予算比3,450万円増の56億8,551万円です。これに対して経常支出計は予算比7,271万円減の55億1,916万円であるため、経常収支差額は1億6,635万円の収入超過となります。

特別収入計は予算比302万円増の1億4,252万円で、特別支出計は予算比1億1,630万円増の1億1,630万円であるため、特別収支差額は2,622万円の収入超過となります。

この結果、基本金組入前当年度収支差額は1億9,257万円の収入超過となります。

詳しくは本学HP（情報公開）をご覧ください。

令和4年度　事業活動収支計算書

（単位：百万円）

経常収入	予算	決算
学生生徒等納付金	4,297	4,281
手数料	95	82
寄付金	89	103
経常費等補助金	907	963
付随事業収入	12	12
雑収入	83	83
受取利息・配当金	90	79
その他	78	82
経常収入合計	5,651	5,685

経常支出	予算	決算
人件費	3,108	3,197
教育研究経費	1,980	1,853
管理経費	489	457
借入金等利息	8	7
その他	6	5
経常支出合計	5,591	5,519

	予算	決算
経常収支差額	59	166
特別収入	139	142
特別支出	0	116
特別収支差額	139	26
予備費	10	0
基本金組入前当年度収支差額	189	192

Campus Link Q&A

学生と先生をつなぐQ&A

学生生活を充実させる方法や、いまだからこそできること、いつも会っている先生のまだ知らない側面をもっと知りたい！ あらためて先生に聞きたいこと、答えてもらいました。

質問に答えてくれたのは　**掘井誠史 先生**

神戸大学経済学部経済学科卒業、同大学院経済学研究科・経済学専攻博士課程後期課程修了。商学部で経済学史、現代教養学部で経済と社会などを担当。

Q 先生の学生時代について教えてください

A ロン毛、陸上、そろばん、簿記！

小5から小6にかけて急に足が速くなり、中学では陸上部。でも高校の陸上部は「丸坊主が必須」といわれ、入部せず。当時、KAT-TUNの亀梨和也くんに憧れてロン毛だったんですよね（笑）。それでも走りたかったので、外部の陸上クラブに所属して400mの選手に。というのも、スタートが絶望的に遅くて、100mは無理だったんです…。学校では珠算部と簿記部に入って、大会にも出場していました。

Q 掘井先生の研究テーマは？

A 「産業革命前のザクセン繊維産業」です。

産業革命と聞くと、19世紀後半にドイツに鉄道網が張り巡らされて…というのを想像する人が多いと思いますが、その少し前の時代です。当時の産業革命を支えていたのが、ドイツ・ザクセン州の繊維産業。技術を広めるには教育が欠かせませんが、実は当時はまだ教育機関がなかったんです。学校がないなかでいかに知識を継承していったのか…。その疑問が私の研究の原点。ものづくりの背景にあるストーリーに、すごく興味があるんです。

Q 先生の愛読書はなんですか？

A とにかく、経済に関する本が好き！

『西洋経済史』は、学部の指導教官をはじめ、お世話になっている先生方の共著。最近は授業の参考書にもしています。読み込み過ぎて、コーヒーのシミが（笑）。『国家はなぜ衰退するのか』は、国がいかに繁栄し、衰退していくのかがテーマのベストセラー。人類の長い歴史のなかで、実は一つの国がずっとトップだったことはない、という話です。非常に興味深く、自分が大学院で経済史の研究を続けようと思ったきっかけの一つです。

Q 学生時代にやっておいたほうがいいことは？

A 限界ギリギリまで頑張る経験を！

分野はなんでもいいので、「これ以上やったらヤバいかも」っていう、自分の限界ギリギリまでの努力をしてほしい。思いっきり頑張った経験があれば、今後の人生で多少のことがあっても乗り越えられる。そもそも、我々は常にフルスロットルでは生きていけませんよね。だからこそ出力を調整し、ここぞというときに最大のパフォーマンスを発揮できるスキルを身につけるためにも、学生時代に自分の限界値を探ってほしい。気合いです！

TEACHER'S COLUMN

FAVORITE SPOT

学生会館Viaと研究棟の間のウッドデッキのテラス。去年できたばかりなのですが、よく一人でコーヒーを飲んでいます。

TEACHER'S VOICE

昔から野球観戦が趣味。「オリックス・バファローズ」ファンです。私が子どものころは「オリックス・ブルーウェーブ」だったのですが、拠点である球場が神戸の実家から近かったので、よく見に行っていました。いまでも試合がある日は、スマホの配信を必ずチェックしています。関東に引っ越してきてからは、ZOZOマリンスタジアムにも一度出かけました。実家に戻ることがあれば、京セラドームに行くこともたまにありますよ。

Q 先生の趣味はなんですか？

A キャンプ。というか、“野営”です。

博士課程1年目に彼女と別れて落ち込んでいて。友だちと初めてのキャンプに行ったんです。キャンプというと聞こえがいいですが、出かけたのはキャンプ場ではなく、神戸の普通の山奥。12月ですごく寒いのに、薪も準備していなくて。拾い集めた湿った枝で焚火をしました。でも自然に触れることで癒されて、無になれる時間が心地よかった。以来ハマって、たまにソロで楽しんでいます。